



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月1日 東

上場会社名 株式会社パーカーコーポレーション 上場取引所
 コード番号 9845 URL <http://www.parkercorp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 善和
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 山崎 敏男 (TEL) 03-5644-0600
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	33,955	△5.7	2,077	△6.2	2,143	△8.7	1,460	△8.5
27年3月期第3四半期	36,020	33.7	2,216	77.6	2,348	42.1	1,596	36.8

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 789百万円(△68.0%) 27年3月期第3四半期 2,469百万円(△9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	56.38	—
27年3月期第3四半期	61.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	44,483	23,659	48.3
27年3月期	44,301	23,017	47.2

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 21,493百万円 27年3月期 20,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
28年3月期	—	3.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	47,000	△6.0	2,360	△21.4	2,680	△16.7	1,680	△19.8
								64.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	26,801,452株	27年3月期	26,801,452株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	899,348株	27年3月期	898,185株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	25,902,488株	27年3月期3Q	25,906,466株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では原油安やドル高の影響により企業業績を押し下げる要因もありましたが、雇用の改善や堅調な内需関連を中心に景気回復を堅持しました。欧州でも大規模な金融緩和策の継続により回復基調を維持しました。先進国が景気回復を牽引する一方、中国などの新興国経済の減速による貿易の縮小、さらには資源価格の大幅な下落による資源国での投資活動の停滞や中東情勢等の地政学的リスクも発生し、不安定な状況で推移しました。

わが国経済につきましては、企業収益や雇用・所得環境の改善もあり景気は回復基調にあるものの、中国や新興国の景気減速の影響による輸出の伸び悩み、企業の設備投資マインドの慎重さや、個人消費も力強さに欠けるなど、先行きに不透明感が見られました。

このような経済情勢の下、当社グループではマーケティング力を強化し、主力の自動車業界や電子部品業界の市場動向に注力しながらグローバル生産体制の最適化を図ると共に販売強化に努めてまいりました。

当社としましては、国内事業の競争力強化と海外収益の拡大を経営の両輪として製品開発や海外展開を推進してまいりました。

その結果、当社グループの第3四半期の連結業績は、売上高33,955百万円（前年同期比5.7%減）、営業利益は2,077百万円（前年同期比6.2%減）、経常利益は2,143百万円（前年同期比8.7%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,460百万円（前年同期比8.5%減）となりました。

なお、前連結会計年度末の連結子会社1社の持分比率変更に伴う異動等もあり前年同期に比べ売上高、営業利益、経常利益が減少しております。また前年には特別利益に投資有価証券売却益等を計上した影響もあり前年同期に比べ、親会社株主に帰属する四半期純利益が減少しております。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

・機械部門

食品機械・材料や試験機械及び自動車用内装製造設備の販売が順調に推移しました。特に国内、海外市場ともに自動車用内装製造設備の売上は好調でした。また食品機械にも大型物件の売上がありました。

当部門の売上高は、2,191百万円（前年同期比23.3%増）、営業利益は65百万円（前年同期の営業損失は37百万円）となりました。

・化成品部門

自動車業界向け製造販売は、国内では顧客の減産もあり低調に推移しました。中国市場での製造販売は順調に推移し、メキシコでは北米市場向けが好調に推移しました。またインドでの製造販売も順調に推移しております。

当部門の売上高は11,339百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は1,180百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

・化学品部門

一般工業用ケミカル及び特殊ケミカルの製造販売は国内では低調に推移しましたが、製造コスト低減策等を実施したことにより営業利益は改善しました。中国での製造販売は堅調に推移しました。

また自動車関連洗浄装置の大型物件もあり売上高及び営業利益が伸長しております。

当部門の売上高は4,442百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は225百万円（前年同期比115.2%増）となりました。

・産業用素材部門

家電用防音材の製造販売は、新製品を投入できた事もあり、円安の影響などありましたが国内、海外とも順調に推移しました。自動車用防音材の製造販売は、国内での自動車メーカーの継続的な減産により厳しい状況で推移しました。

なお前連結会計年度末に中国子会社1社が持分比率の変更により連結子会社から持分法適用会社となっております。

当部門の売上高は11,007百万円（前年同期比23.1%減）、営業利益は297百万円（前年同期比65.8%減）となりました。

・化工品部門

アジア市場におけるファインケミカル製造販売は、成長鈍化の中国の影響があり低調に推移しましたが、前期低調であった国内でのカーケアケミカルは天候にも恵まれ、製造販売が好調に推移しました。

当部門の売上高は3,010百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益は190百万円（前年同期比157.1%増）となりました。

・その他部門

中国市場での商品販売が好調に推移し、中国やロシアからの輸入販売が堅調でしたが、ロシア市場での販売は低調に推移しました。

当部門の売上高は1,964百万円（前年同期比10.8%減）、営業利益は118百万円（前年同期比46.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ182百万円増加し、44,483百万円となりました。主な要因は、AK.PARKER(THAILAND)CO.,LTD.を第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めたため、総資産の増加(363百万円)、現金及び預金の増加(950百万円)、商品及び製品の減少(199百万円)、保有株式の時価の下落及びAK.PARKER(THAILAND)CO.,LTD.を連結範囲に含めたこと等による投資有価証券の減少(816百万円)があったことによるものです。

負債は前連結会計年度末と比べ459百万円減少し、20,823百万円となりました。主な要因は、期末日が休日であることから期末日満期支払手形の影響などによる支払手形及び買掛金の増加(352百万円)、1年以内返済長期借入金の増加(2,500百万円)がありましたが、短期借入金の減少(155百万円)、賞与支給による賞与引当金の減少(218百万円)及び長期借入金の減少(2,724百万円)によるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ642百万円増加し、23,659百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加(1,270百万円)、その他有価証券評価差額金の減少(398百万円)、為替換算調整勘定の減少(316百万円)によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結会計期間における業績は概ね計画通りに推移しており、前回公表の計画(平成27年5月12日付決算短信)に修正はありません。また、今後におきましても、経済環境や市場動向を注視し、業績予想の適切な開示に努めてまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

○税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,282,638	7,233,451
受取手形及び売掛金	11,680,578	11,878,162
商品及び製品	3,428,765	3,229,610
仕掛品	456,708	386,986
原材料及び貯蔵品	1,035,525	1,160,333
繰延税金資産	227,791	300,502
その他	910,834	987,376
貸倒引当金	△17,377	△10,443
流動資産合計	24,005,465	25,165,980
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,993,251	8,028,751
減価償却累計額	△4,768,547	△4,941,171
建物及び構築物(純額)	3,224,704	3,087,580
機械装置及び運搬具	6,671,307	6,997,145
減価償却累計額	△4,824,229	△5,006,974
機械装置及び運搬具(純額)	1,847,077	1,990,170
土地	6,100,219	6,143,233
リース資産	455,948	391,351
減価償却累計額	△249,391	△241,253
リース資産(純額)	206,557	150,097
建設仮勘定	183,366	95,098
その他	3,390,672	3,592,573
減価償却累計額	△2,873,538	△2,970,597
その他(純額)	517,133	621,976
有形固定資産合計	12,079,058	12,088,156
無形固定資産		
リース資産	2,808	1,699
のれん	915	572
その他	343,495	410,494
無形固定資産合計	347,220	412,766
投資その他の資産		
投資有価証券	5,821,646	5,005,029
長期貸付金	299,194	278,594
繰延税金資産	157,469	156,898
その他	1,780,340	1,564,847
貸倒引当金	△189,275	△188,312
投資その他の資産合計	7,869,375	6,817,057
固定資産合計	20,295,653	19,317,980
資産合計	44,301,119	44,483,961

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,237,023	7,589,462
短期借入金	3,048,167	2,892,308
1年内返済予定の長期借入金	526,672	3,026,672
リース債務	112,341	85,002
未払法人税等	357,302	442,570
賞与引当金	534,442	315,810
繰延税金負債	—	167
その他	1,629,434	1,616,349
流動負債合計	13,445,384	15,968,342
固定負債		
長期借入金	4,861,646	2,137,462
リース債務	108,568	75,944
繰延税金負債	922,541	776,667
役員退職慰労引当金	223,330	206,291
退職給付に係る負債	1,536,370	1,483,903
資産除去債務	15,613	15,561
その他	169,929	159,805
固定負債合計	7,837,999	4,855,636
負債合計	21,283,383	20,823,979
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,201,205	2,201,205
資本剰余金	2,277,399	2,277,399
利益剰余金	12,410,062	13,680,145
自己株式	△206,233	△206,792
株主資本合計	16,682,433	17,951,957
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,036,515	2,638,103
繰延ヘッジ損益	△8,010	△456
為替換算調整勘定	1,227,067	910,376
退職給付に係る調整累計額	△24,694	△6,192
その他の包括利益累計額合計	4,230,877	3,541,831
非支配株主持分	2,104,424	2,166,192
純資産合計	23,017,735	23,659,982
負債純資産合計	44,301,119	44,483,961

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	36,020,746	33,955,693
売上原価	27,180,096	25,577,833
売上総利益	8,840,649	8,377,859
販売費及び一般管理費	6,624,384	6,299,980
営業利益	2,216,265	2,077,878
営業外収益		
受取利息	27,546	22,193
受取配当金	50,962	50,924
持分法による投資利益	36,004	65,625
為替差益	93,968	-
その他	85,830	100,990
営業外収益合計	294,311	239,733
営業外費用		
支払利息	108,531	50,256
為替差損	-	103,609
その他	53,726	20,658
営業外費用合計	162,258	174,524
経常利益	2,348,318	2,143,088
特別利益		
固定資産売却益	2,919	5,608
投資有価証券売却益	134,237	-
負ののれん発生益	24,988	-
関係会社株式売却益	100	-
関係会社出資金売却益	1,143	-
保険差益	47,345	5,651
特別利益合計	210,734	11,260
特別損失		
固定資産売却損	49	4,353
固定資産除却損	3,354	5,059
投資有価証券評価損	-	937
減損損失	1,442	3,740
特別損失合計	4,847	14,091
税金等調整前四半期純利益	2,554,205	2,140,257
法人税、住民税及び事業税	609,622	607,435
法人税等調整額	△10,598	△81,440
法人税等合計	599,023	525,995
四半期純利益	1,955,181	1,614,261
非支配株主に帰属する四半期純利益	359,001	153,817
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,596,180	1,460,444

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,955,181	1,614,261
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	306,708	△302,147
繰延ヘッジ損益	11,421	7,554
為替換算調整勘定	80,313	△419,538
退職給付に係る調整額	4,293	18,578
持分法適用会社に対する持分相当額	111,483	△129,552
その他の包括利益合計	514,220	△825,105
四半期包括利益	2,469,402	789,156
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,158,707	771,398
非支配株主に係る四半期包括利益	310,695	17,757

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	1,777,666	10,969,603	3,999,705	14,308,636	2,761,836	33,817,446	2,203,299	36,020,746	—	36,020,746
セグメント間の 内部売上高又は振替高	71,203	586,838	88,599	257,061	1,170	1,004,873	178,834	1,183,707	△1,183,707	—
計	1,848,869	11,556,442	4,088,304	14,565,697	2,763,006	34,822,320	2,382,134	37,204,454	△1,183,707	36,020,746
セグメント利益又は 損失(△)	△37,591	1,124,469	104,872	869,883	74,198	2,135,833	80,431	2,216,265	—	2,216,265

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	機械部門	化成品 部門	化学品 部門	産業用 素材部門	化工品 部門	計				
売上高										
外部顧客への売上高	2,191,247	11,339,200	4,442,741	11,007,981	3,010,079	31,991,250	1,964,442	33,955,693	—	33,955,693
セグメント間の 内部売上高又は振替高	94,912	176,214	62,347	134,491	896	468,862	615,508	1,084,370	△1,084,370	—
計	2,286,160	11,515,415	4,505,088	11,142,472	3,010,976	32,460,113	2,579,950	35,040,063	△1,084,370	33,955,693
セグメント利益又は 損失(△)	65,338	1,180,608	225,641	297,532	190,726	1,959,847	118,031	2,077,878	—	2,077,878

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油関連商品・不動産賃貸を含んでおります。

2 報告セグメントの利益と四半期連結損益計算書の営業利益との差額は、「その他」の区分の利益であります。